

てがたんレポート Vol.3 No.5 (2006年5月：通巻26号)

5月13日(土)予定の「てがたん」は、雨天中止となりましたので、5月7日(土)の「てがたん」下見の記録と、任意で実施した5月13日(土)の観察記録を掲載しました。

観察範囲：鳥の博物館前の遊歩道(5/7「てがたん」下見)、鳥の博物館から香取神社周辺まで(5/13「てがたん」任意参加)
観察日時/天気：2006年5月7日(土)11:00~12:00/くもり、5月13日(土)10:00~11:30/雨
参加スタッフ数：5/7は5人、5/13は6人
観察案内&記録：
・ボランティア・スタッフ(敬称略・五十音順)：小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、丸田稔
・鳥博職員：時田賢一、斉藤安行、岡廣志

今回のテーマ
・鳥の子育て

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

鳥類(鳴き声だけ聴こえた鳥も含めます)

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、キジ、オオバン、コチドリ、タシギ、ユリカモメ、コアジサシ、キジバト、アマツバメ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、セッカ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

(その他帰化鳥や家禽)カナダガン、アヒル

鳥の記録には、5月14日(日)開催のバードウィーク手賀沼探鳥会の結果を加えました。

昆虫類

- ・カメムシの仲間：成虫に脱皮したてのヨコヅナサシガメ(外来種)、マメカメムシ
- ・チョウやガの仲間：ヤマトシジミ、クワゴマダラヒトリの幼虫(ギシギシの葉を食べる)、ユウマダラエダシャク
- ・バッタの仲間：ヒメギスの幼虫、キンヒバリ(声)
- ・ハチの仲間：キゴシジガバチの巣の中に蛹あり

観察したおもな花

- ・赤：ゲンゲ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ、ナガミヒナゲシ、アメリカフウロ、オオムラサキツツジ(植栽)、ナガミヒナゲシ、コヒルガオ
- ・黄：ノゲシ、オニノゲシ、オニタビラコ、オオジシバリ、カタバミ、ヘビイチゴ、タガラシ、ハハコグサ、ムクノキ(樹木)
- ・青：オオイヌノフグリ、キョウリグサ、ニワゼキショウ、タチイヌノフグリ、フジ
- ・白：オランダミミナグサ、フタリシズカ、ノヂシャ、ヤブジラミ、ミズキ(植栽樹木)、ピラカンサ(植栽樹木)、ハルジオン、ニセアカシア(植栽樹木)
- ・他：スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、スズメノヤリ、イヌムギ、ウマスゲ

観察した果実や種子：アオキ(樹木)、ヘビイチゴ、ナズナ、ホウチャクソウ、ツメクサ

その他観察した植物：ウラシマソウ、イヌスギナ(胞子茎あり)、スギナ、シロダモの新芽、シラカシの新芽

* リストの生き物の名前は順不同です

5月の観察アルバム

*5月の「てがたん」は雨天中止のため、下見の時に確認した生き物を中心に紹介しました。



イヌムギの花



成虫脱皮直後の
ヨコヅナサシガメ



参道脇のウラシマソウ



ミズキの花
虫が集まっていました



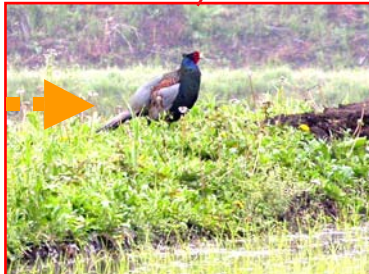
田んぼの畦のイヌスギナ
(スギナの上にツクシがのびる)



クズに集まった
マルカメムシ



100mくらいの
距離を隔てて
オス同士がなわばりを
主張していました



湿地に繁茂したウマスゲ



ジョロウスゲが
ミニ手賀沼の
水辺に繁茂



オレンジ色が目立つ
クワゴマダラヒトリ
(蛾)の幼虫



満開のフジ